

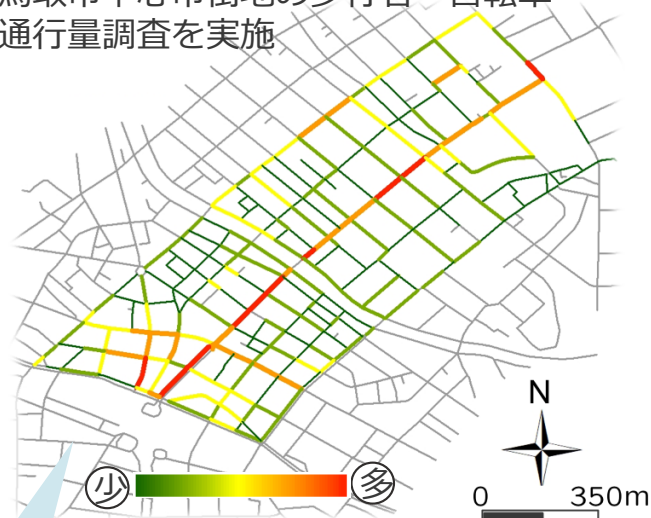
背景

- 全国の地方都市で、中心市街地の空洞化が進行.
- 地域の個性を反映する空間 = 「まちの顔」として、歩いて暮らせる**生活の拠点**として、**中心市街地の賑わいの創出**は都市計画上の重要課題.
- 中心市街地の価値を高めることは税収の向上にもつながり、地域全体にとって有益.

どのような都市施設や店舗を誘致・誘導し、どのように配置することが賑わいの創出に効果的か？

「賑わい」の実測調査

鳥取市中心市街地の歩行者・自転車通行量調査を実施



どういう場所に人が多く集まっているか？

分析の内容

- **街路ネットワーク**の構造上、便利な場所はどこなのか？
- 現在の中心市街地で、重要な場所や便利な場所は効率的に**活用**されているのか？
- **店舗や各種施設**の集積は、どのように賑わいと関連しているのか？
- **空き店舗や駐車場**は賑わいを低下させてしまうのか？
- どの空き店舗を活用することが、**効果的に賑わいを高められる**のか？

…といった問いに答えるべく、研究を進めています。

